

県立職業能力開発施設再編整備 基本計画策定方針補足資料

令和8年2月

商工労働観光部

目次

- | | |
|--------------------------|-----------|
| I 本県の職業能力開発促進法による施設の設置場所 | スライド1 |
| II 国、県、事業主団体の役割分担 | スライド2 |
| III 県立職業能力開発施設の状況 | スライド3~17 |
| VII 職業能力開発を取り巻く環境変化 | スライド18~22 |
| V 課題と対応の方向 | スライド23 |

I 本県の職業能力開発促進法による施設の設置場所



※ 職業能力開発促進法による施設 23

(内訳)

- ◆ 県立職業能力開発施設 5(4校5施設)
- 認定職業訓練団体 16
- ▲ 情報処理技能者養成施設 1
- ★ 高齢・障害・求職者雇用支援機構 1

【県立職業能力開発施設】

- 産業技術短期大学校
 - ・ 本校 (矢巾町)
 - ・ 水沢校 (奥州市)
- 高等技術専門学校
 - ・ 千厩高等技術専門学校 (一関市)
 - ・ 宮古高等技術専門学校 (宮古市)
 - ・ 二戸高等技術専門学校 (二戸市)

※ 高等技術専門学校は、職業能力開発促進法に基づく必置機関

Ⅱ 国、県、事業主団体の役割分担

本県における職業能力開発は、職業能力開発促進法に基づいて、国（独立行政法人）、県及び事業主団体（職業訓練校等）が、下表のとおり、それぞれ役割分担を図りながら実施している。

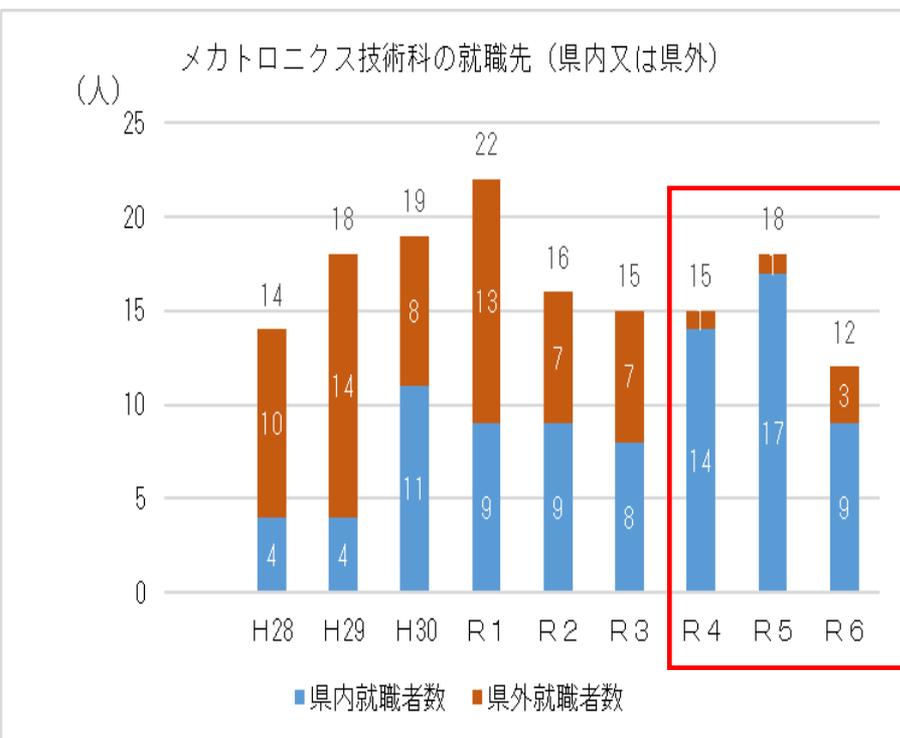
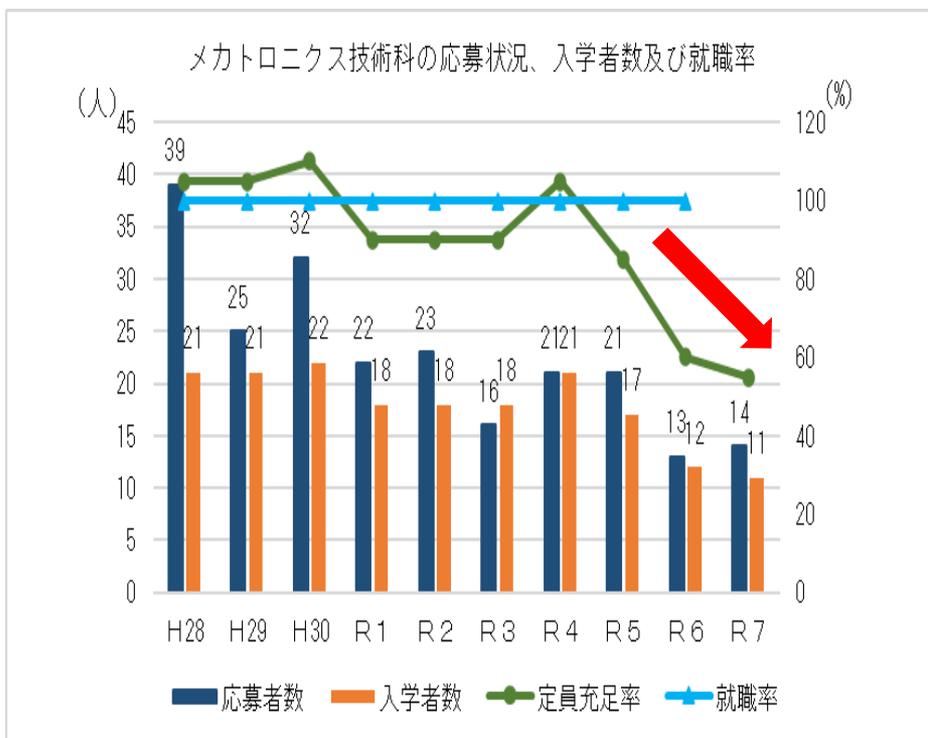
訓練の種類	訓練課程	区分	主な訓練対象者	訓練期間	県	国(独法)	事業主団体等	実施施設
高度職業訓練	専門課程	学卒者訓練	新規高校卒業者	2年	◎	—	—	産業技術短期大学校
	専門短期課程	在職者訓練	在職者訓練	1年	◎	◎	—	産業技術短期大学校 国(ポリテク)
	応用短期課程	在職者訓練	専門課程卒業者	1年	◎	—	—	産業技術短期大学校
普通職業訓練	普通課程	学卒者訓練	新規高校卒業者	2年又は1年	◎	—	◎	高等技術専門校
		在職者訓練	在職者訓練	2年又は1年	—	—	◎	職業訓練法人
	短期課程	学卒者訓練	新規高校卒業者	6か月以下	◎	—	◎	高等技術専門校 職業訓練校 等
		在職者訓練	在職者	概ね2～3日	◎	◎	◎	高等技術専門校 職業訓練校 等
		離職者訓練	離職者等	2か月～2年	○	◎、○	△	産業技術短期大学校、 高等技術専門校、 ポリテクセンター岩手、 職業訓練法人 等
		障がい者訓練	障がい者	1～3か月	○	—	△	職業訓練校 等

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ①産技短本校

【産技短本校 メカトロニクス技術科】

- 定員充足率が低下傾向で、直近3年は定員数を割り込む
- 就職率は概ね100%。コロナの影響もあり、県内就職者数が増加傾向

1 産技短本校 メカトロニクス技術科【定員20人】



※応募者数より入学者数が多い年度があることについては、応募者数は第1希望のみカウントしているのに対し、入学者は第2希望で入学するケースもあるためである。

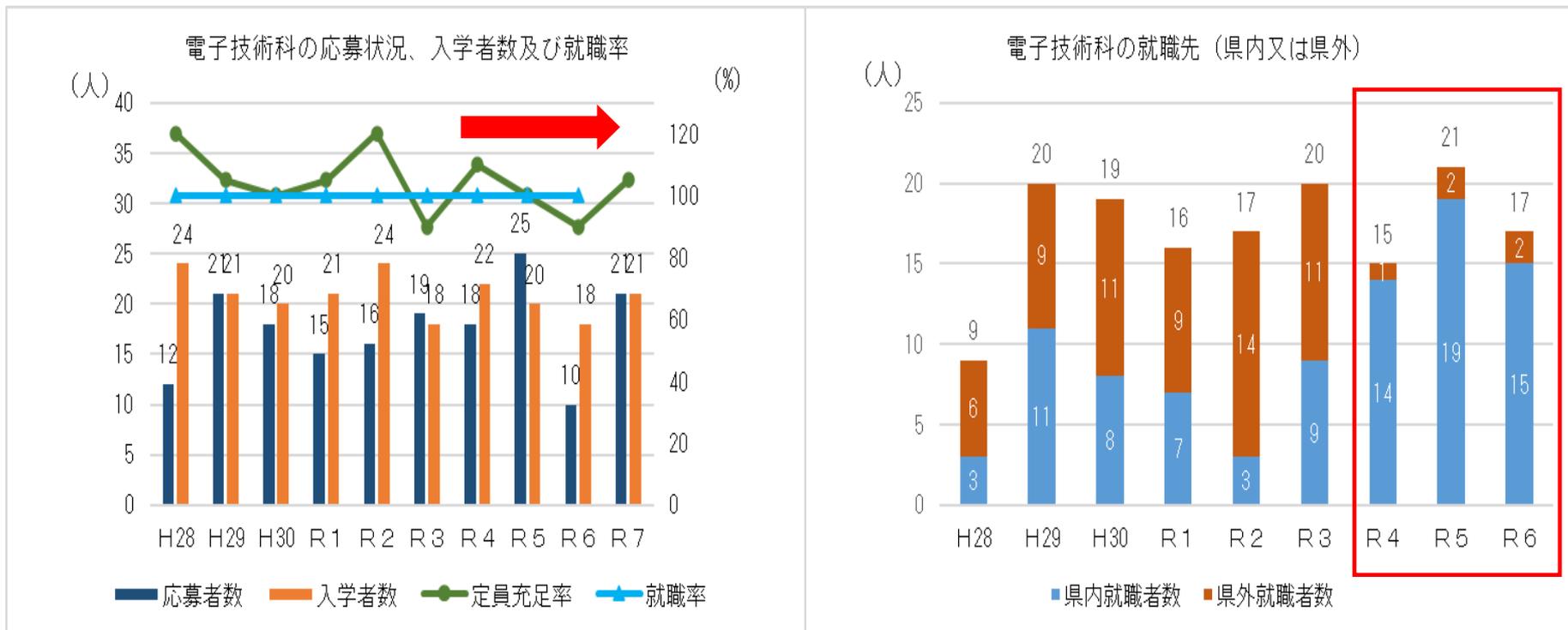
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ①産技短本校

【産技短本校 電子技術科】

- ・ 応募者数は年度毎にばらつきがある。定員充足率は概ね100%で推移
- ・ 就職率は100%。コロナの影響もあり、県内就職者数が増加傾向

1 産技短本校 電子技術科【定員20人】



※応募者数より入学者数が多い年度があることについては、応募者数は第1希望のみカウントしているのに対し、入学者は第2希望で入学するケースもあるためである。

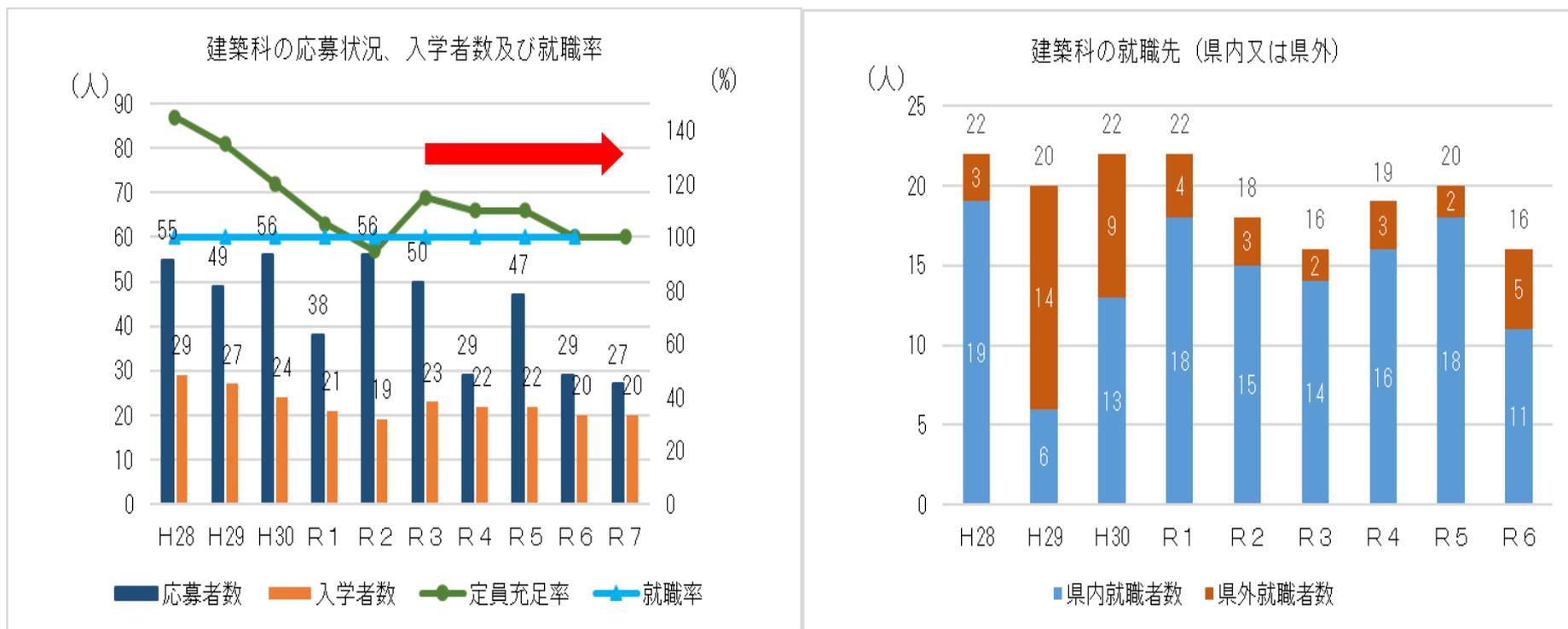
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ①産技短本校

【産技短本校 建築科】

- 応募者数は毎年定員を上回る。定員充足率は概ね100%で推移
- 就職率は100%。H29を除き、半数以上の就職希望者が県内就職

1 産技短本校 建築科【定員20人】



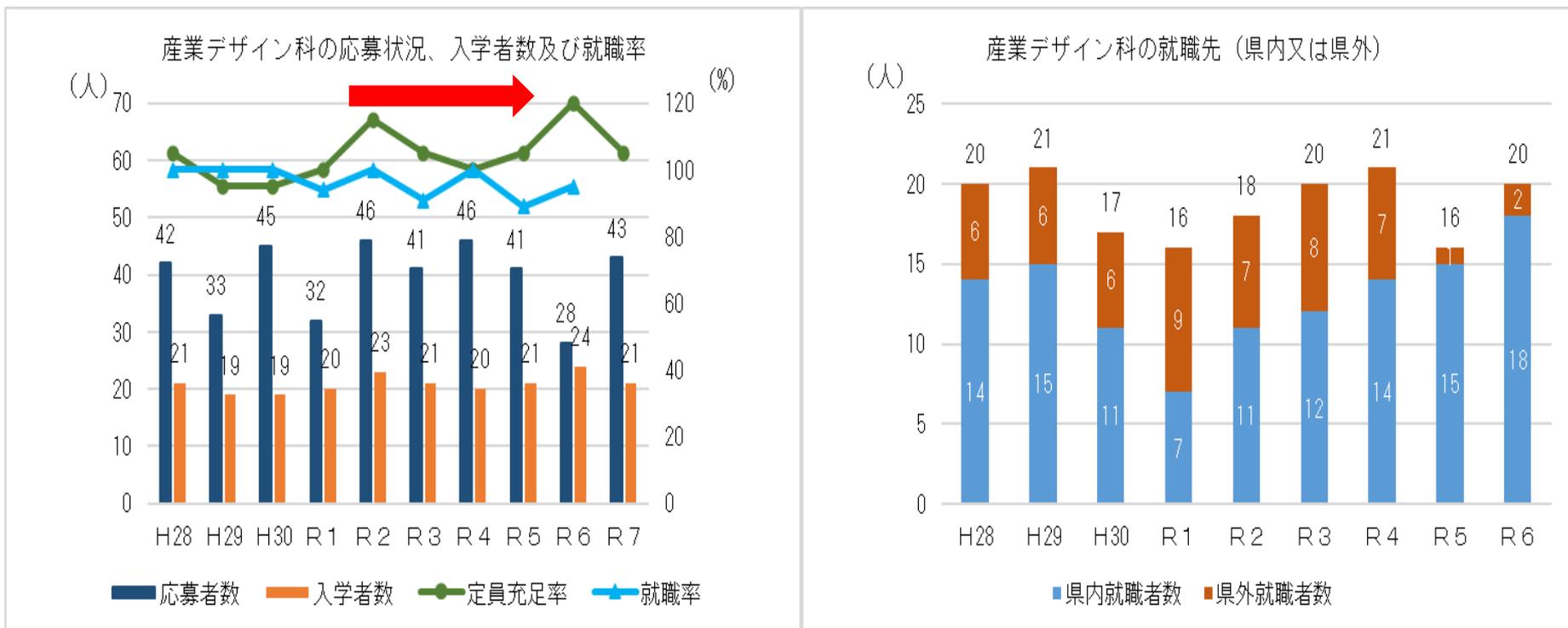
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ①産技短本校

【産技短本校 産業デザイン科】

- ・ 応募者数は毎年定員を上回る。定員充足率は令和以降100%以上で推移
- ・ 就職率は100%。R1を除き、半数以上の就職希望者が県内就職

1 産技短本校 産業デザイン科【定員20人】



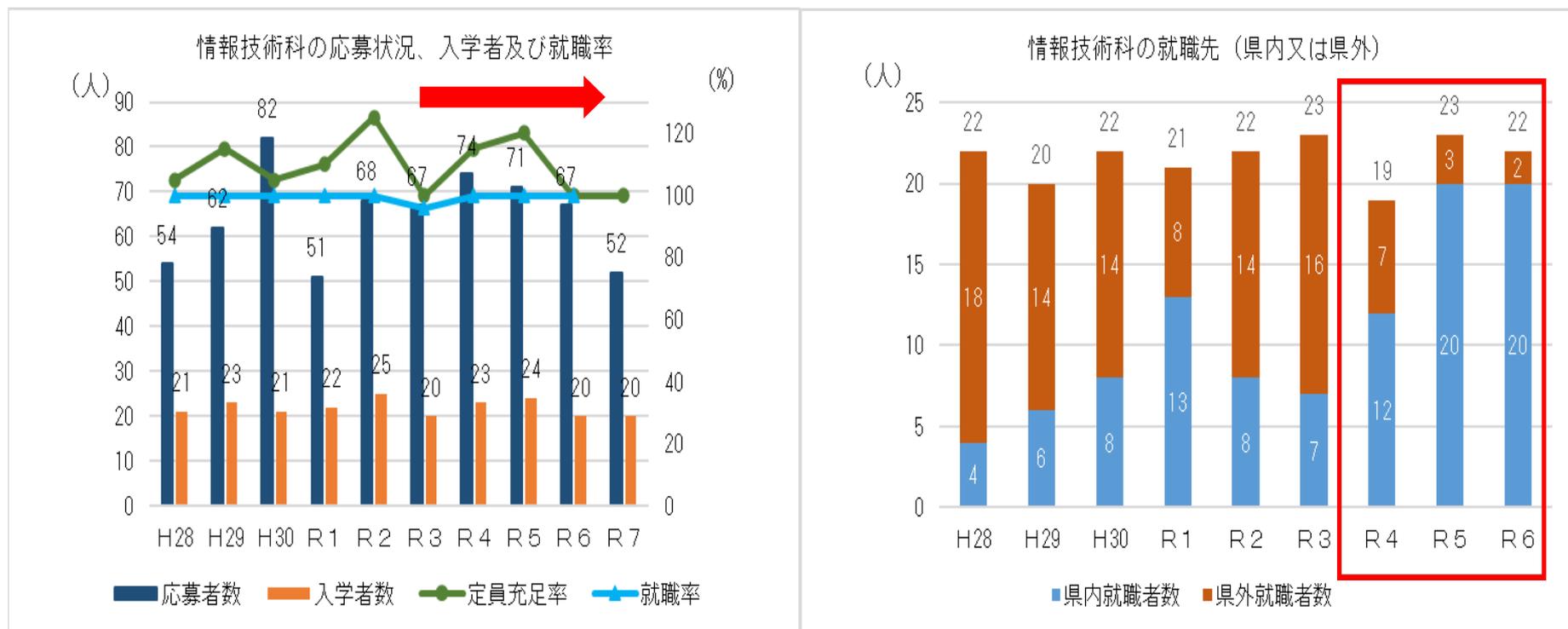
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ①産技短本校

【産技短本校 情報技術科】

- ・ 応募者数は毎年定員を上回る。定員充足率は直近10年100%以上で推移
- ・ 就職率は100%。コロナの影響もあり、県内就職者数が増加傾向

1 産技短本校 情報技術科【定員20人】



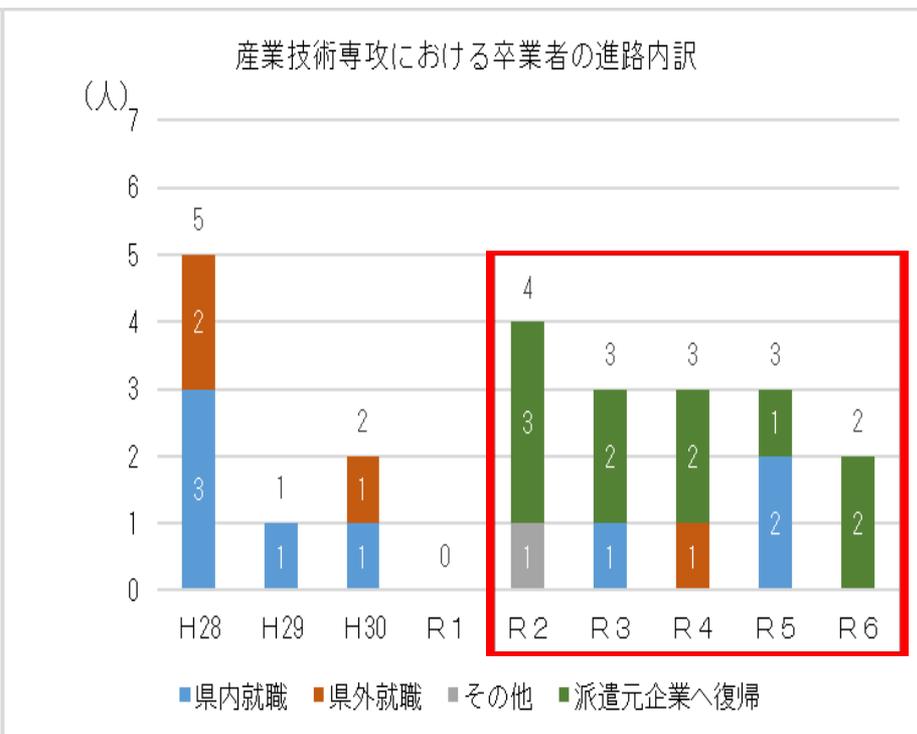
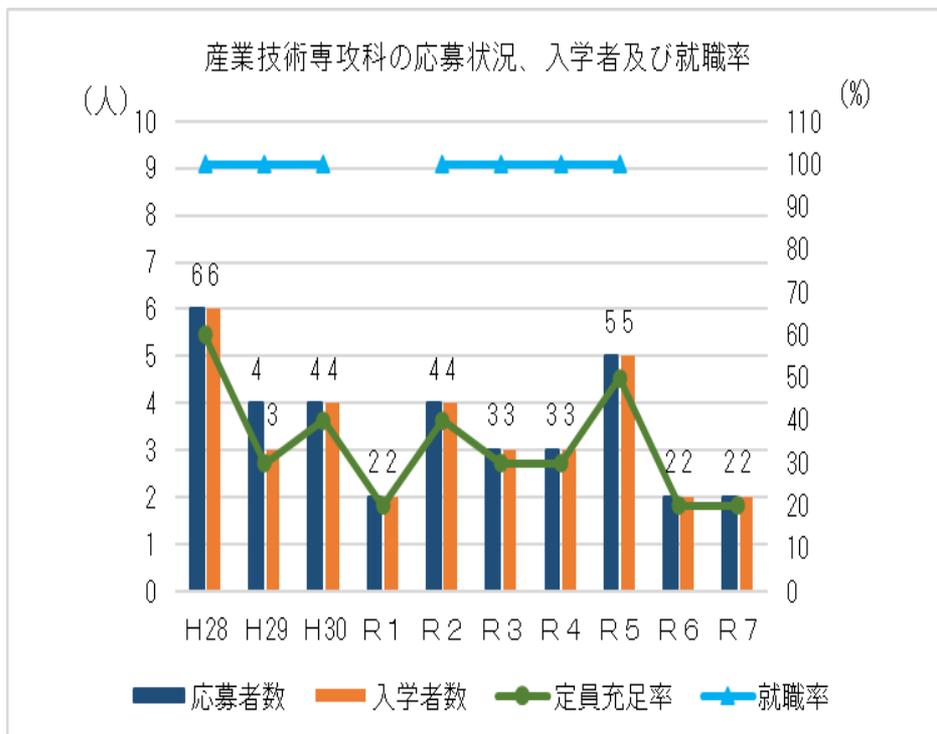
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ①産技短本校

【産技短本校 産業技術専攻科】

- 応募者数は毎年定員を下回る。定員充足率はH29以降50%以下
- 就職希望者の就職率は100%。R2以降企業からの派遣が増加

1 産技短本校 産業技術専攻科【定員10人】



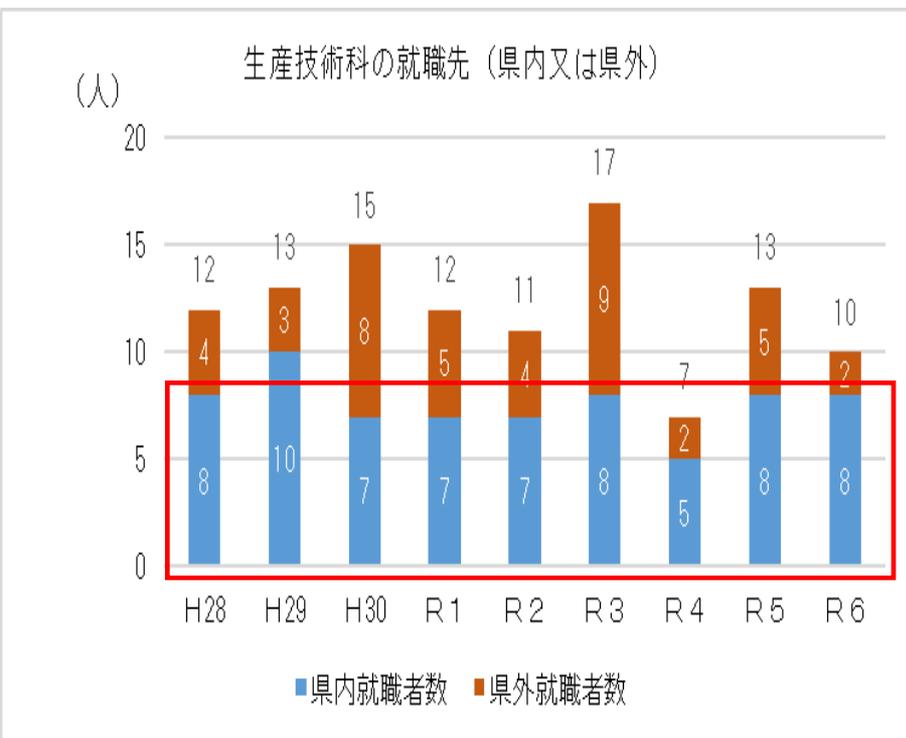
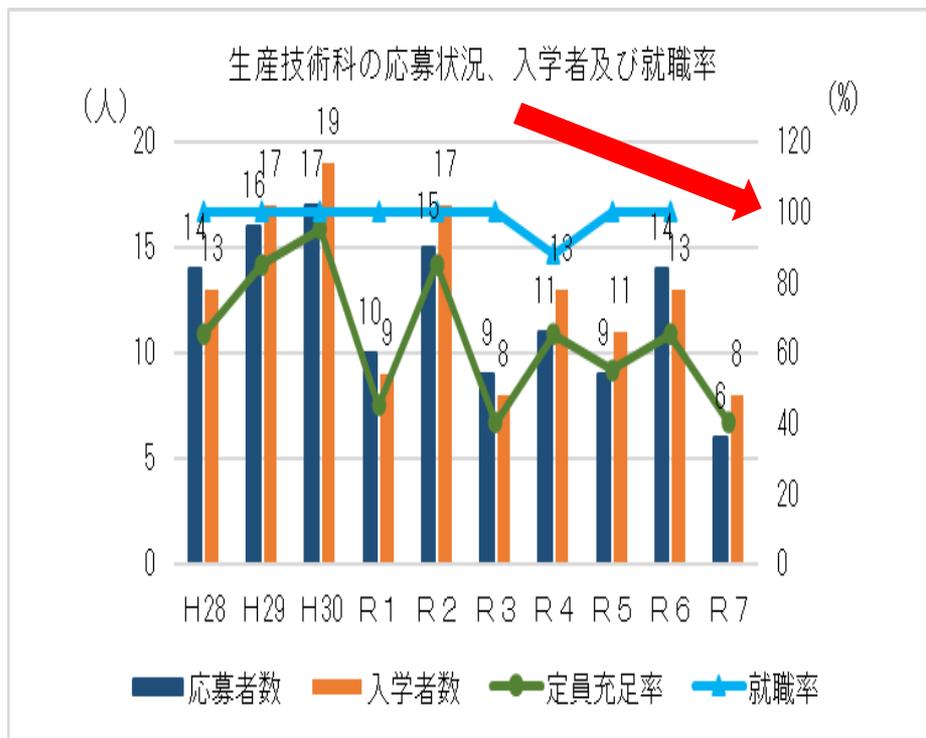
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ②産技短水沢校

【産技短水沢校 生産技術科】

- ・ 応募者数は毎年定員を下回る。定員充足率は減少傾向
- ・ 就職率は100%。県内就職者数は年度毎にばらつきがある

2 産技短水沢校 生産技術科【定員20人】



※応募者数より入学者数が多い年度があることについては、応募者数は第1希望のみカウントしているのに対し、入学者は第2希望で入学するケースもあるためである。

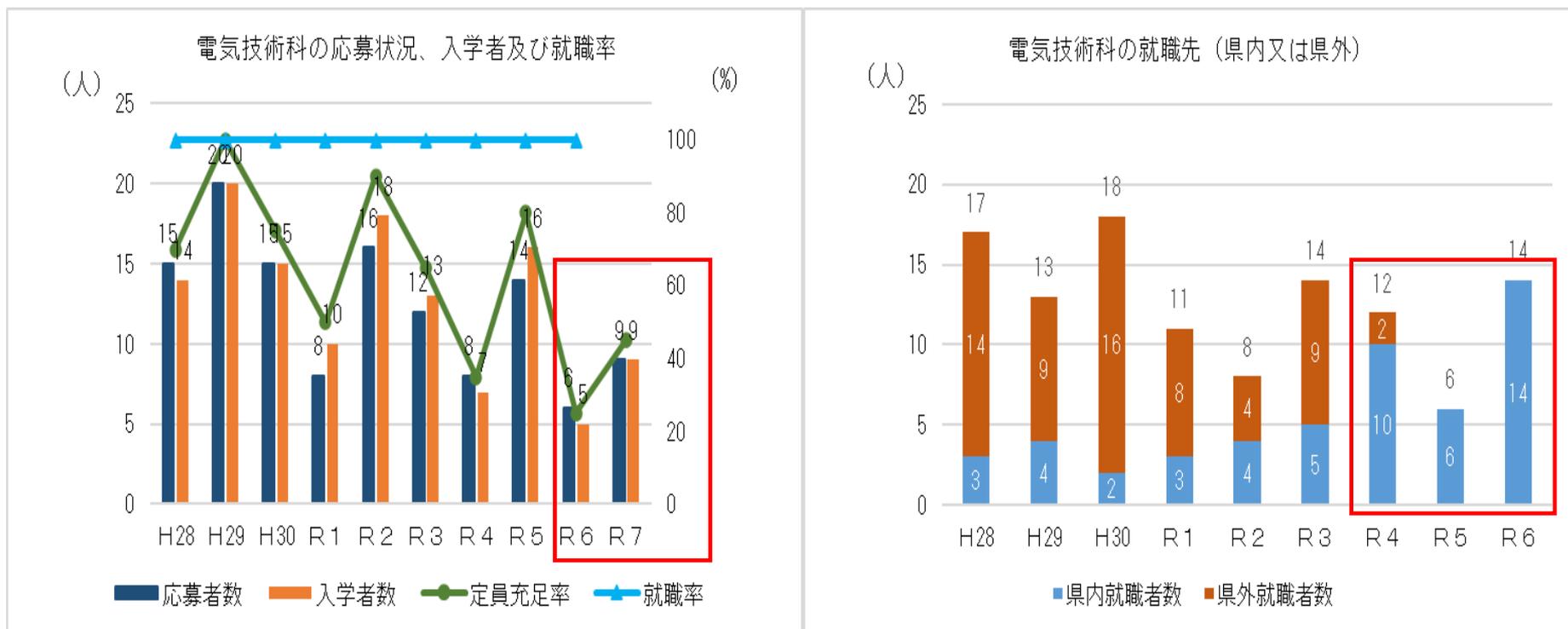
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ②産技短水沢校

【産技短水沢校 電気技術科】

- ・ 応募者数は概ね定員を下回る。定員充足率はR6、R7ともに50%を下回る
- ・ 就職率は100%。コロナの影響もあり、県内就職者数が増加傾向

2 産技短水沢校 電気技術科 【定員20人】



※応募者数より入学者数が多い年度があることについては、応募者数は第1希望のみカウントしているのに対し、入学者は第2希望で入学するケースもあるためである。

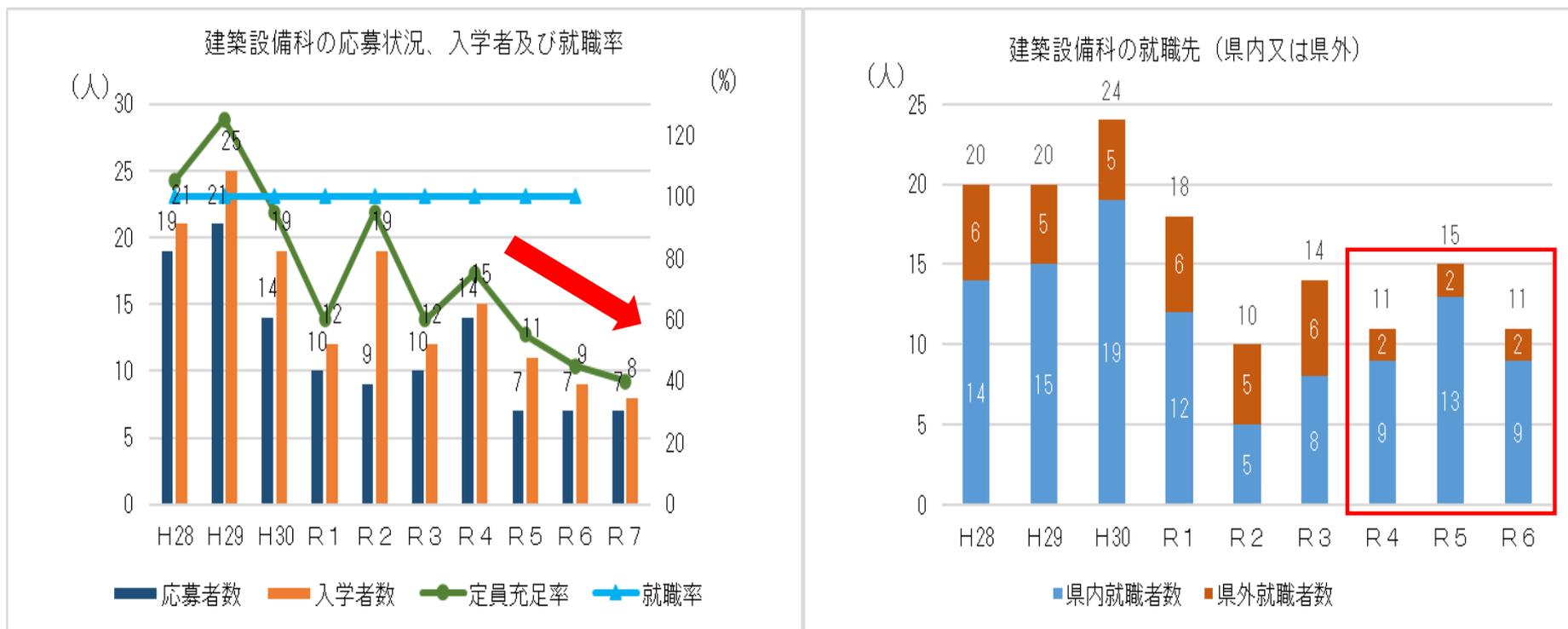
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ②産技短水沢校

【産技短水沢校 建築設備科】

- ・ 応募者数はH30以降定員を下回る。定員充足率はR4以降減少傾向。
- ・ 就職率は100%。コロナの影響もあり、県内就職者数が増加傾向。

2 産技短水沢校 建築設備科【定員20人】



※応募者数より入学者数が多い年度があることについては、応募者数は第1希望のみカウントしているのに対し、入学者は第2希望で入学するケースもあるためである。

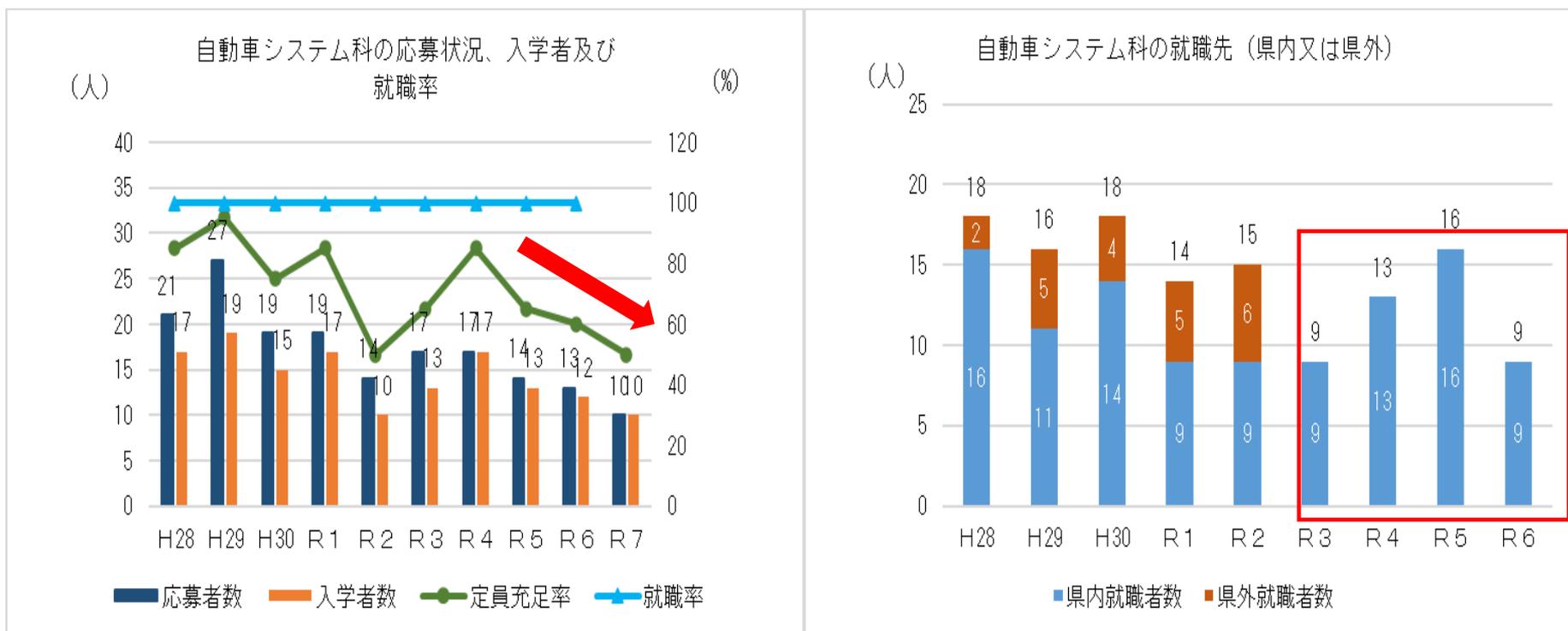
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ③千厩技専校

【千厩技専校 自動車システム科】

- ・ 応募者数はR1以降減少傾向。定員充足率はR5以降減少傾向。
- ・ 就職率は100%。コロナの影響もあり、R3以降全員が県内就職

3 千厩技専校 自動車システム科【定員20人】



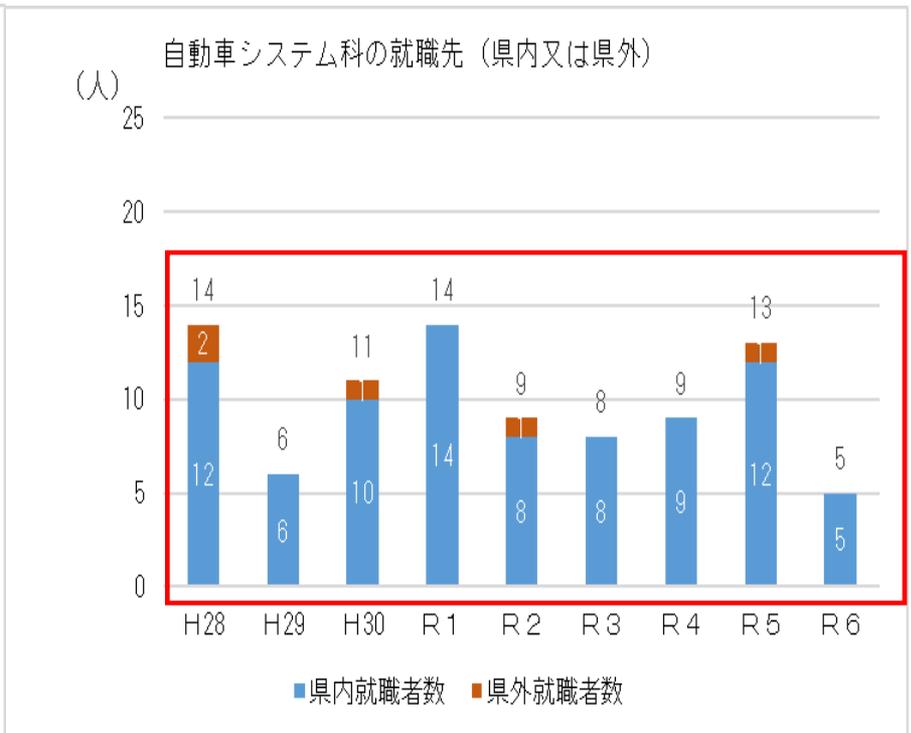
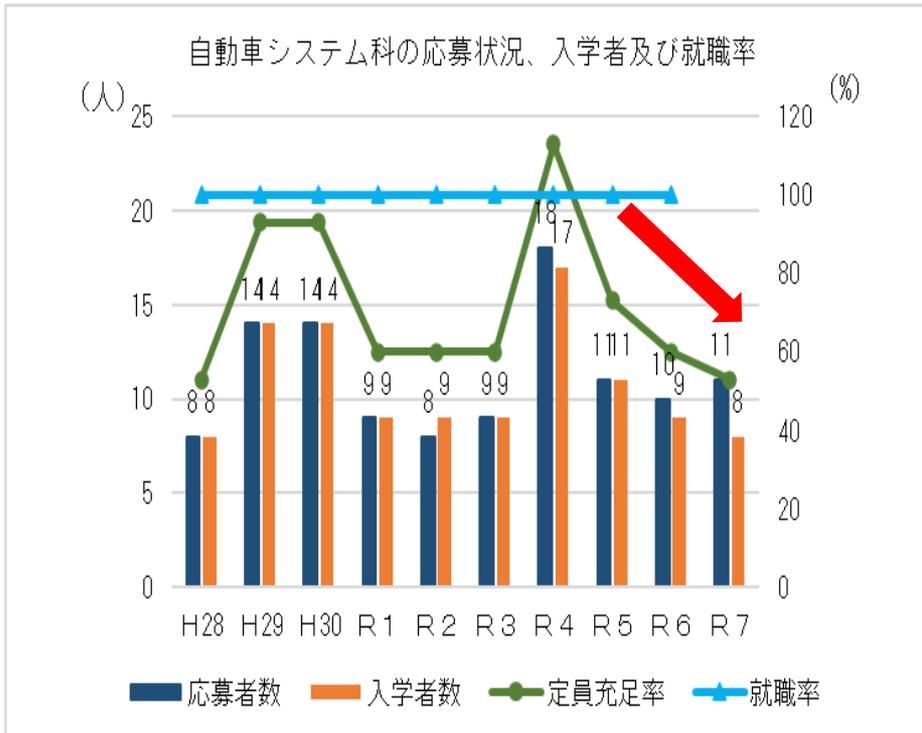
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ④宮古技専校

【宮古技専校 自動車システム科】

- 応募者数はR5以降70%前後で推移。定員充足率はR5以降減少傾向。
- 就職率は100%。直近10年間の就職希望者のほぼ全員が県内に就職。

4 宮古技専校 自動車システム科【定員15人】



※応募者数より入学者数が多い年度があることについては、応募者数は第1希望のみカウントしているのに対し、入学者は第2希望で入学するケースもあるためである。

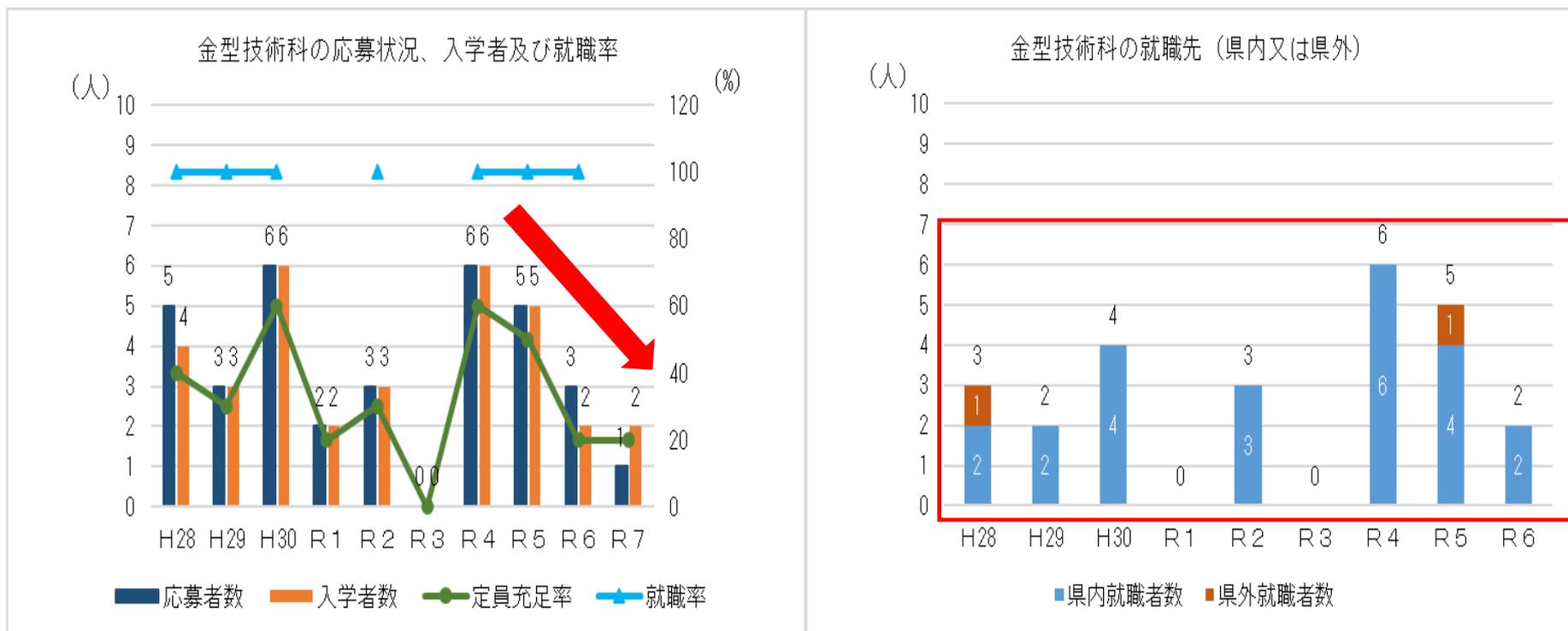
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ④宮古技専校

【宮古技専校 金型技術科】

- 応募者数は毎年定員を下回る。定員充足率はR5以降減少傾向
- 就職率は100%。県外就職者数はごくわずか

4 宮古技専校 金型技術科【定員10人】



※応募者数より入学者数が多い年度があることについては、応募者数は第1希望のみカウントしているのに対し、入学者は第2希望で入学するケースもあるためである。

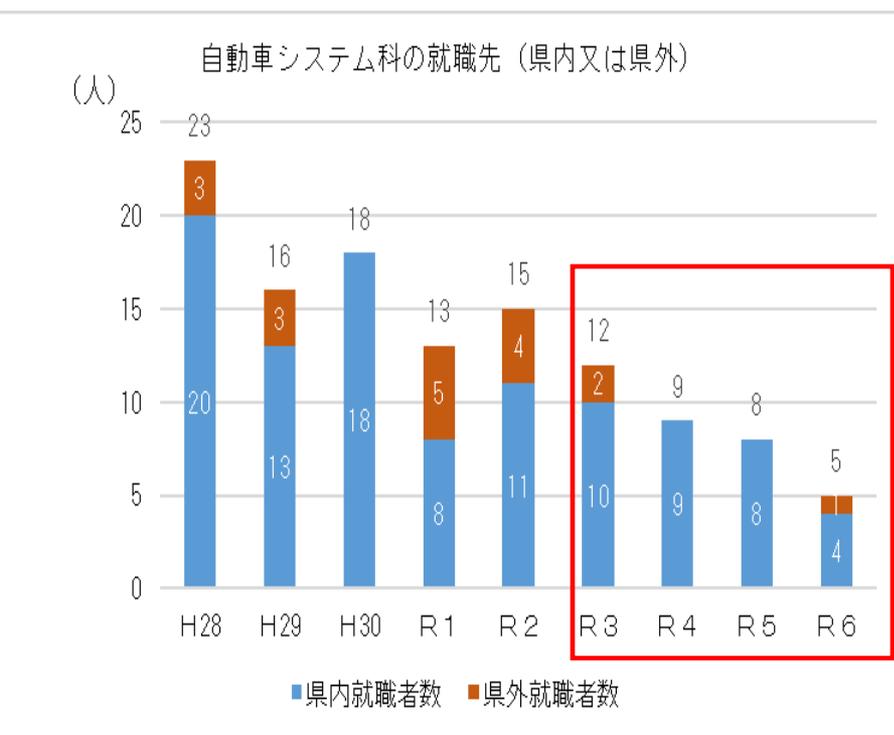
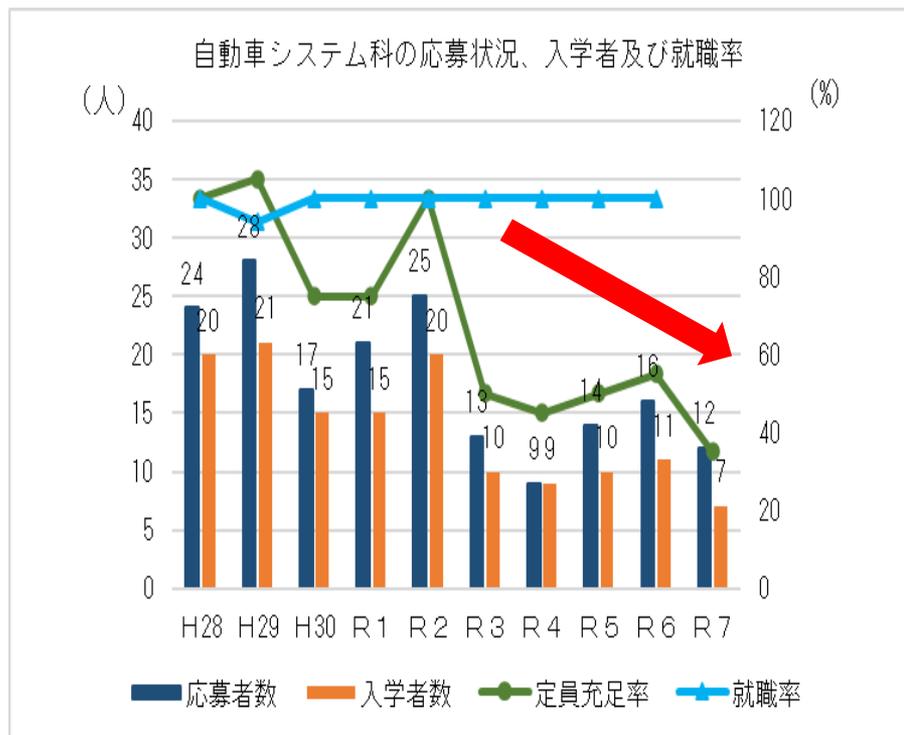
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ⑤二戸技専校

【二戸技専校 自動車システム科】

- ・ 応募者数はR3以降定員を下回る。定員充足率はR5以降50%前後で推移
- ・ 就職率はH29を除き100%。R3以降県外就職者数はごくわずか

5 二戸技専校 自動車システム科【定員20人】



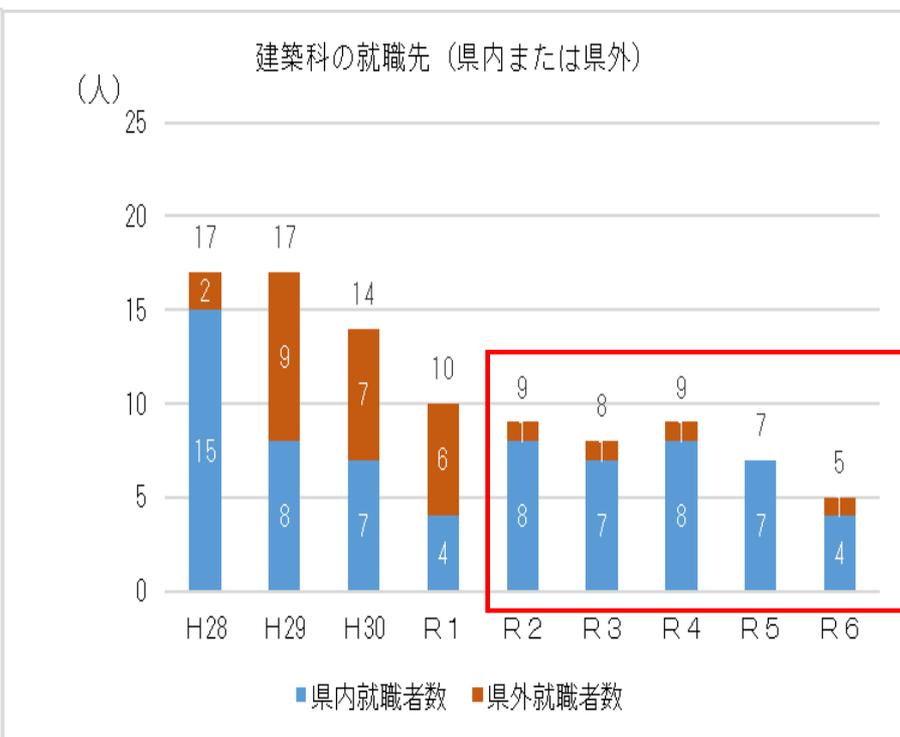
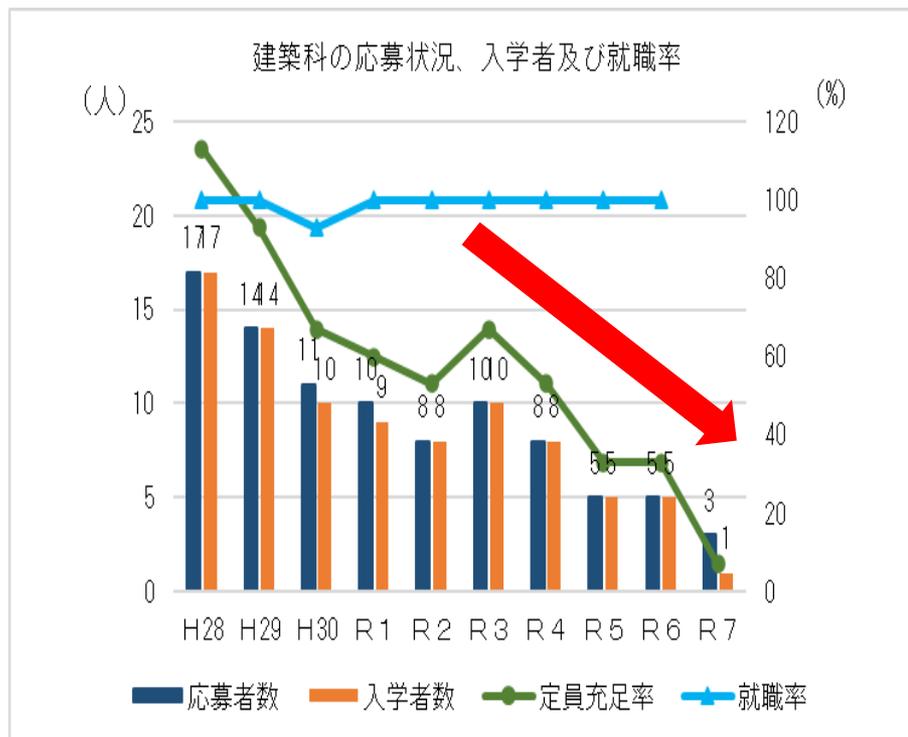
※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ⑤二戸技専校

【二戸技専校 建築科】

- ・ 応募者数はR4以降50%を下回る。定員充足率は減少傾向
- ・ 就職率はH30を除き100%。R2以降県外就職者数はごくわずか

5 二戸技専校 建築科 【定員15人】

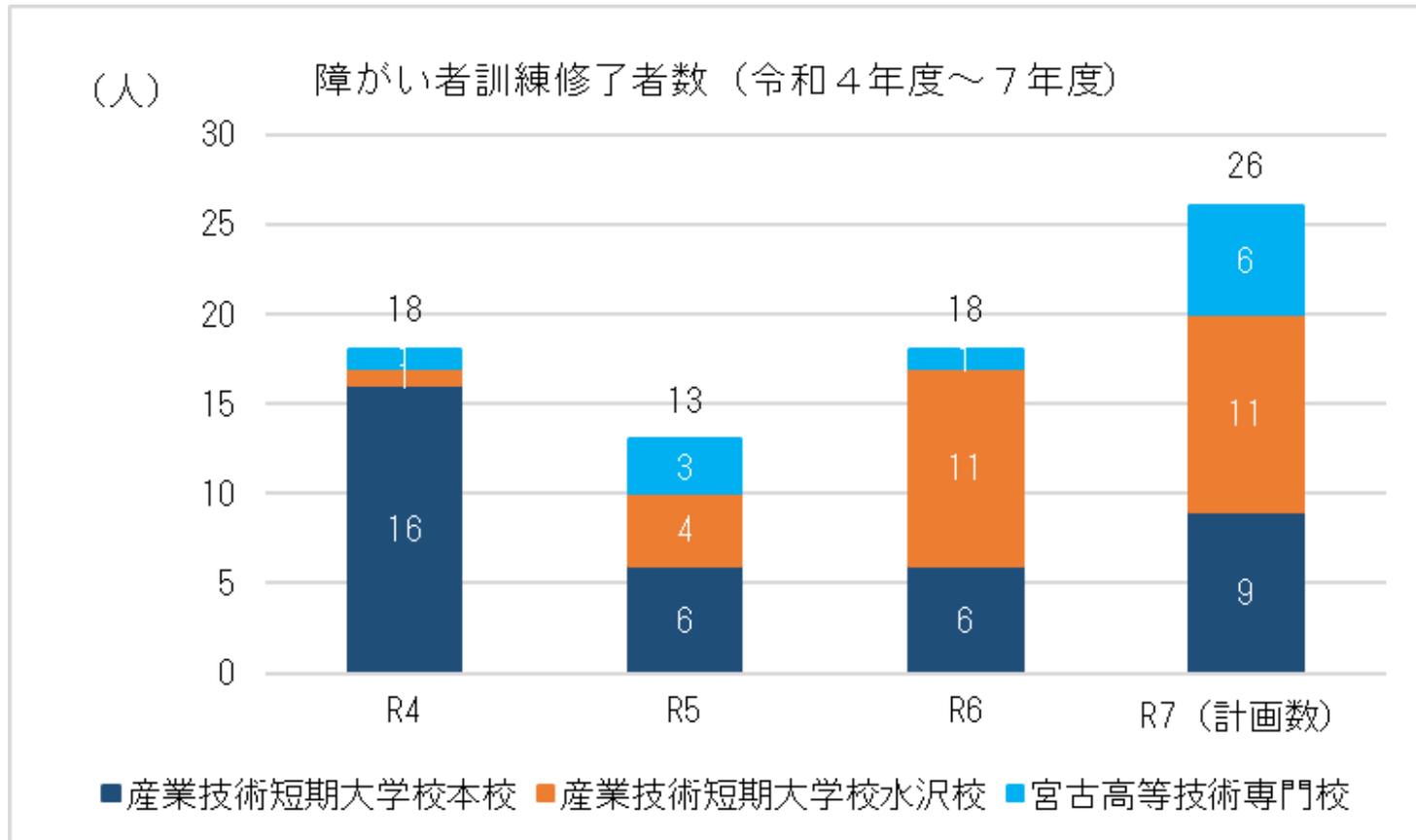


※入学者数と就職者数が一致しないのは、進学者や退学者がいるためであり、就職希望者のうち、概ね100%が就職しているもの。

Ⅲ 県立職業能力開発施設の状況 ⑥短期訓練 障がい者

- ・ 障がい者訓練とは、就職を希望する障がいのある方を対象に、就職に必要な技能や知識を習得するための職業訓練
- ・ 例年、障がい者から一定のニーズがある

6 障がい者訓練修了者数（令和4年度～7年度）

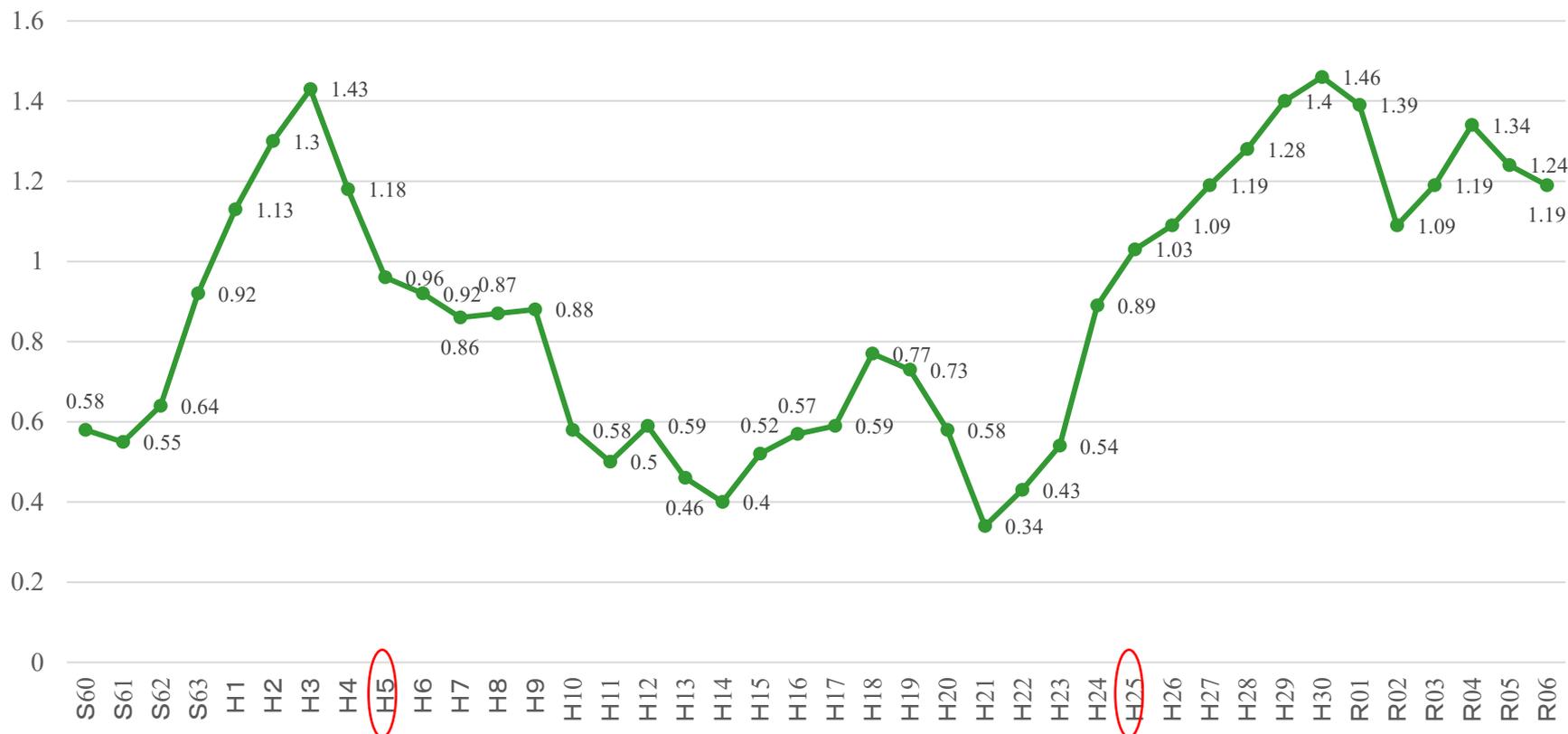


Ⅳ 職業能力開発を取り巻く環境変化

- 平成25年から有効求人倍率が1倍を超え、産業人材の不足が顕著
- 産技短及び技専校ともに企業からの求人が増加傾向

1 雇用状況

岩手県の年間の有効求人倍率の推移



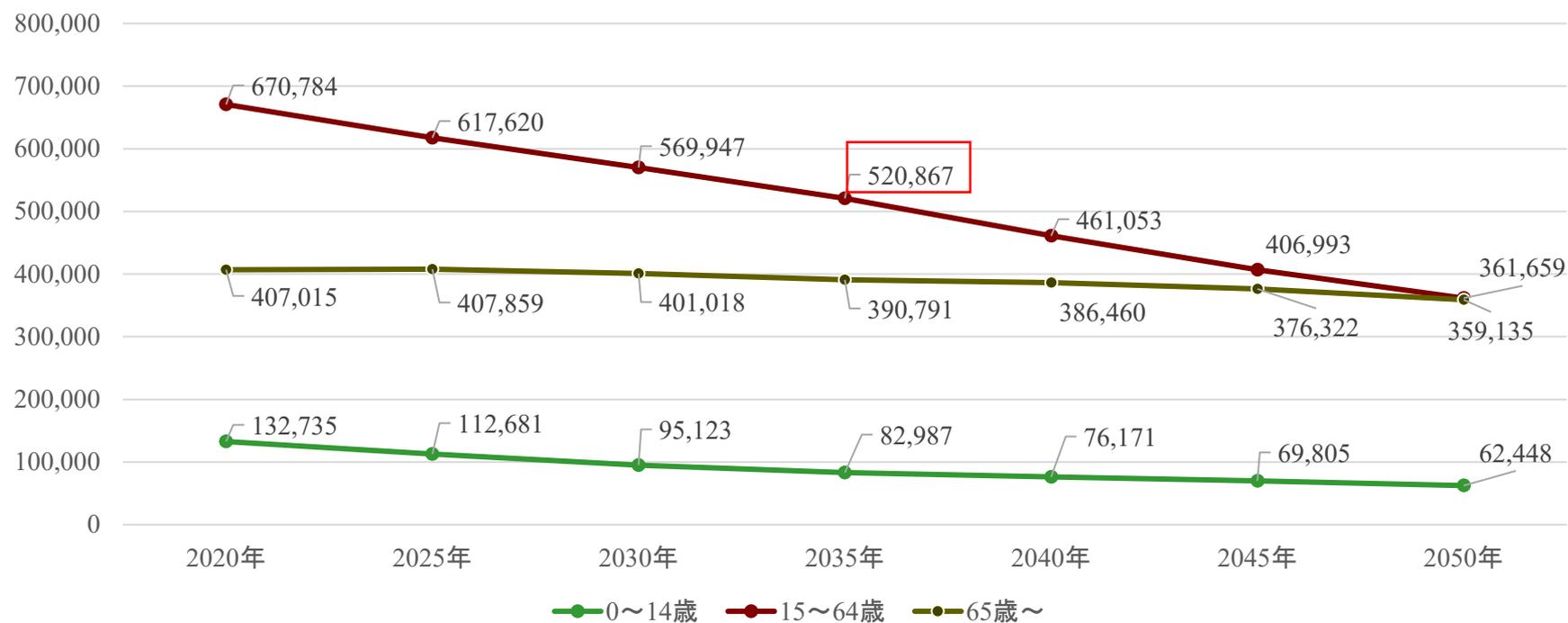
出典：一般職業紹介状況（令和7年4月分）「岩手労働局」

Ⅳ 職業能力開発を取り巻く環境変化

- 本県の人口は、**113万3千人**（岩手県毎月人口推計速報(令和7年4月)）
- 平成9年から人口減少が続き、**令和17年には99万5千人**（都道府県別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所））
- **令和17年の生産年齢人口は52万1千人**（国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口（令和5年推計）」）。

2 労働供給面での変化

岩手県の将来人口推計



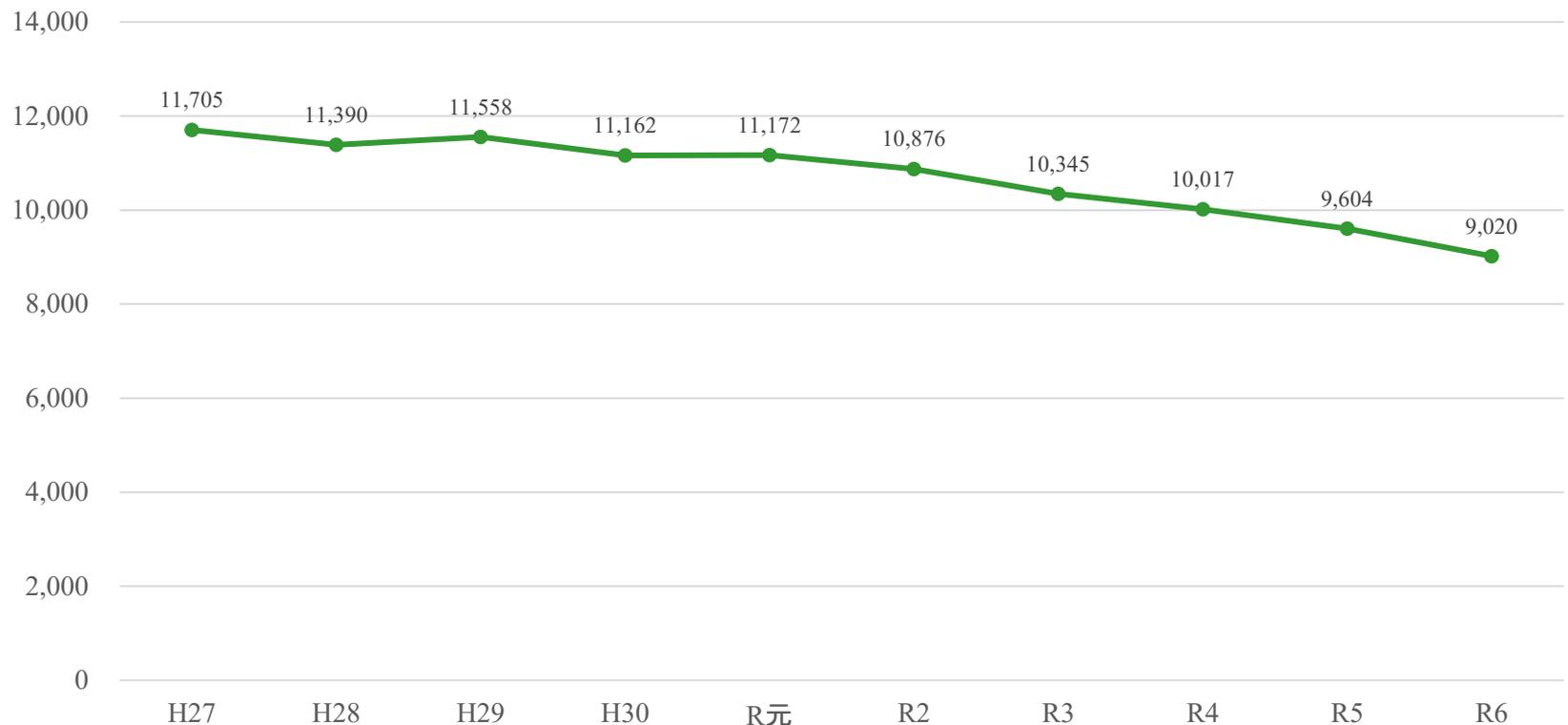
出典：日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計（令和5年12月）「国立社会保障・人口問題研究所」

Ⅳ 職業能力開発を取り巻く環境変化

- ・ 高校卒業者は、平成27年度は11,705人に対し、令和6年度は9,020人と約23%減少

2 労働供給面での変化

高校卒業者数の推移



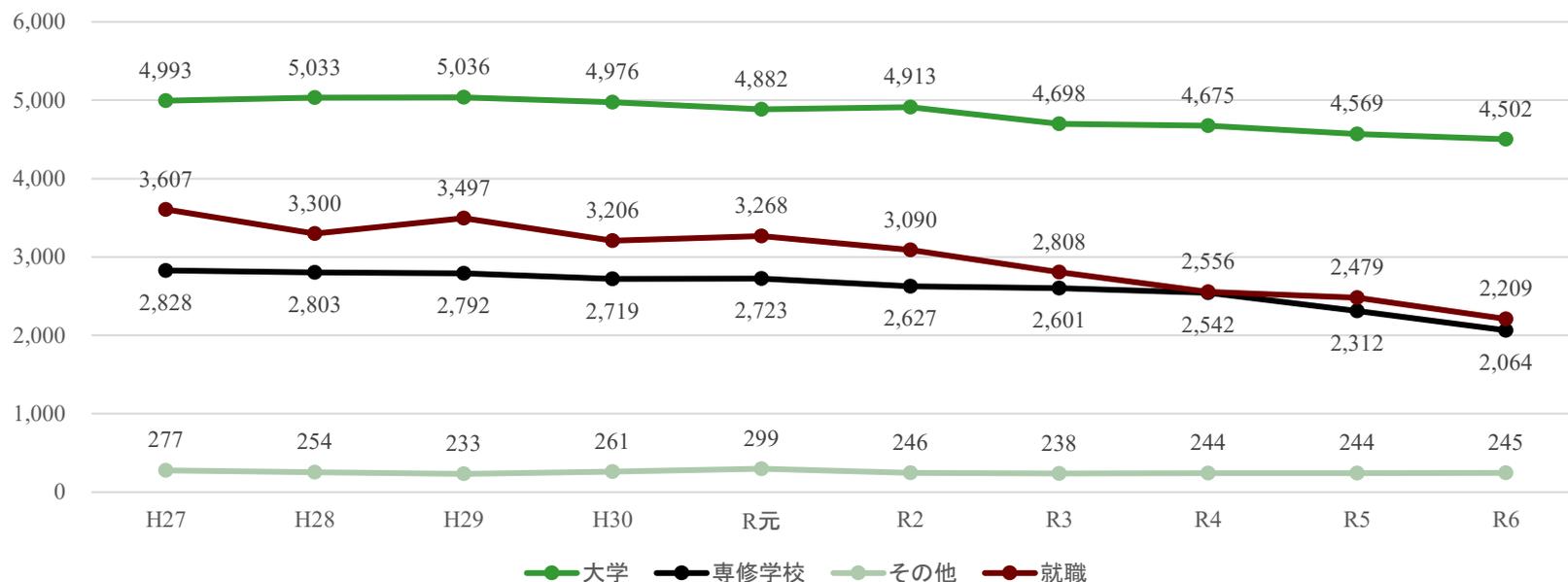
出典：令和2、6年度学校基本統計（学校基本調査報告書）

Ⅳ 職業能力開発を取り巻く環境変化

- 大学進学者においては、平成27年度は4,993人に対し、令和6年度は4,502人と約10%減少
- 就職者は、平成27年度は3,607人に対し、令和6年度は2,209人と約39%減少
- 高卒者の減少率に比べ、大学及び産業技術短期大学校進学者の減少率が低く、進学意欲が高いことが伺える。

2 労働供給面での変化

進路の推移



出典：令和2、6年度学校基本統計（学校基本調査報告書）

Ⅳ 職業能力開発を取り巻く環境変化

- ・令和6年度の求人状況は、県内企業1,521人（前年度比41人減）、県外企業3,324人（前年度比608人減）と県外企業の求人数が多い状況にある。

3 労働需要面での変化

	県内		県外		計	
	社	人	社	人	社	人
産業技術短期大学校本校	485	485	543	543	1,028	1,028
産業技術短期大学校水沢校	352	352	389	389	741	741
千厩高等技術専門校	33	335	66	507	99	842
宮古高等技術専門校	57	172	69	770	126	942
二戸高等技術専門校	55	177	82	1,115	137	1,292
計	982	1,521	1,149	3,324	2,131	4,845

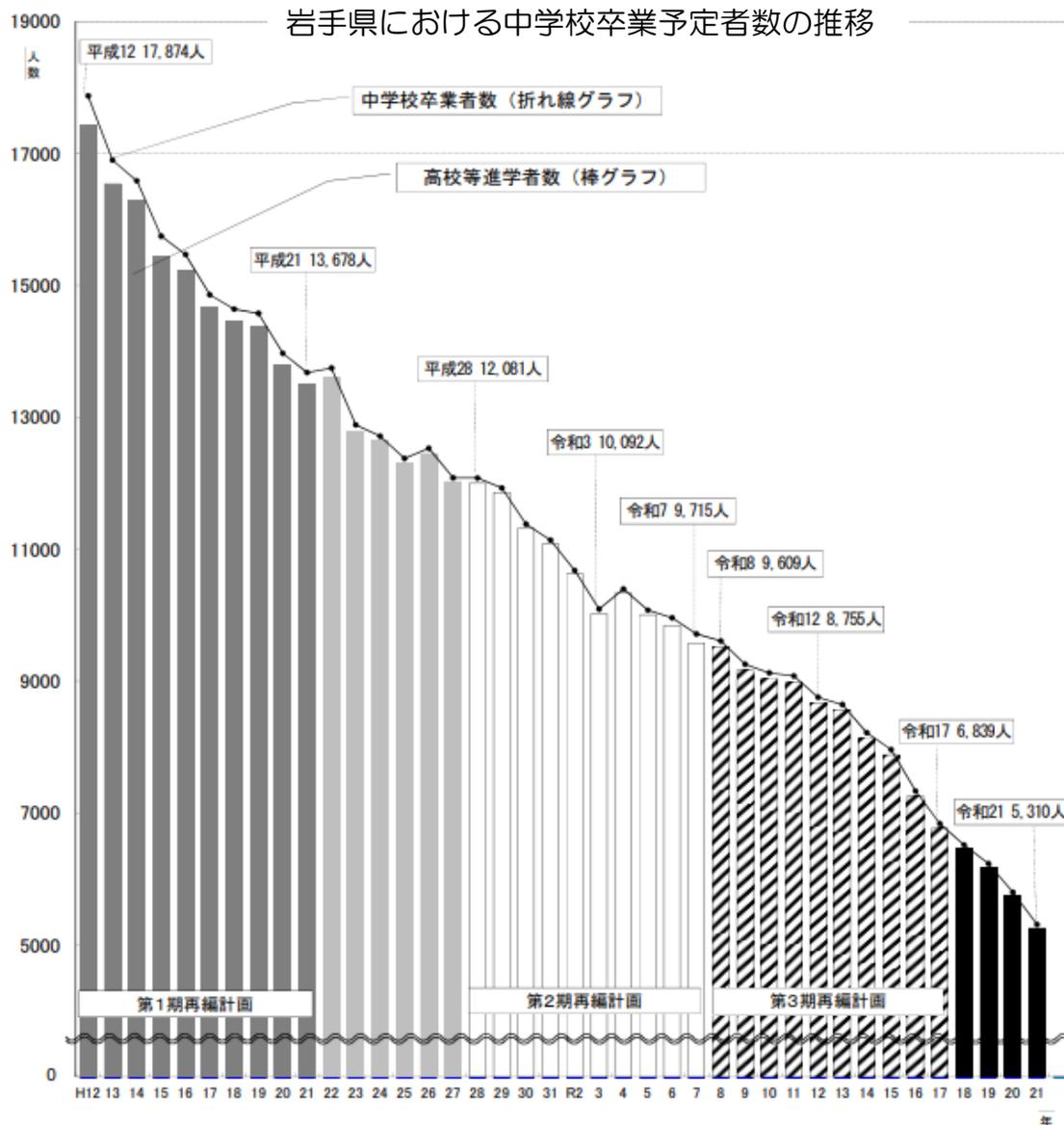
↑ 41人減

↑ 608人減

令和5年度	997	1,562	1,143	3,932	2,140	5,494
-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------

V 課題と対応の方向

入学者数の減少



中学校卒業生数
 H21 13,678人
 ↓
 R7 9,715人
 71.0%
 ↓
 R21 5,310人
 38.8%

『県教育委員会「新たな県立
 高等学校再編計画後期計画」
 (最終案)R3.2』